資料5－１

**「大阪府都市基盤施設長寿命化計画」策定に向けて(答申)**

**第２編　行動計画　公園施設長寿命化計画　（素案）概要版**

**≪効率的・効果的な維持管理手法の推進のために講ずべき主な施策≫**

**≪現　状≫**

**◇点検、診断、評価の手法や体制等の充実**

●致命的な不具合を見逃さない安全の視点と施設の長寿命化を図るための確実性の視点を踏まえた手法の導入

　・**遊具は、利用者の安全性確保を最優先に、日常点検（午前・午後）**を実施すると共に、**精密点検（年１回）を実施**。

　・受変電設備や排水設備は、公園利用を支える基盤設備であることから、点検計画（月１回～年１回）に基づき定期点検を実施。

　・親水設備は、動作確認などの日常点検を実施。

　・**橋梁は、日常点検に加えて定期点検（５年に１回）を行い**、点検データの蓄積を実施。

　・特殊建築物以外の**建築物（例　管理事務所等）は、日常点検に加えて定期点検（５年に１回）を行い**、点検データの蓄積を実施。

　・**遊具等の定期点検結果や補修履歴について、電子データで蓄積し、経年変化を把握する**ことで、補修サイクルに活用。**今後、蓄積するデータの項目**

**や様式について整理・検討。**

**◇施設の特性に応じた維持管理手法の体系化**

●維持管理手法の設定（予防保全対策の拡充、補修時期の最適化）

　[**公園施設は、目標管理水準を健全度B以上とし、健全度C以下は補修等の候補施設として順次対応**]

　・**遊具は、状態監視型**による維持管理を実施。**目視により変状を把握できない遊具は、安全確保を最優先に、時間計画型による維持管理**を実施。

　・**受変電設備や排水設備は時間計画型による維持管理**とし、親水設備は状態監視型による維持管理を実施。

　・橋梁は、状態監視型による維持管理を実施し、計画的に長寿命化対策を実施。

　・建築物は、状態監視型による維持管理を実施し、計画的に長寿命化対策を実施。

・老朽化した施設において、指定管理者との分担を含めた計画的な修繕等の年次計画を立案し、指定管理者との一体的な維持管理を実施。

●重点化指標・優先順位の考え方

・**公園施設は、健全度並びに社会的影響度等の高い施設から重点的に維持管理を実施。**

・**特に、遊具は、健全度と人的影響度（事故の危険性や重大性など）の高い施設から重点的に維持管理を実施**。

**◇更新時期の考え方（更新時期の最適化）**

・公園施設は、健全度、技術基準上の機能不足（例 バリアフリー化未対応等）、利用頻度、LCC効果、社会的ニーズ等を総合的に勘案し、更新

等の時期を判断。遊具は、健全度、機能不足（基準不適合）、利用頻度や社会的ニーズなどを総合的に考慮して、更新時期を判断。

**◇日常的な維持管理の着実な実践**

　 [日常的な維持管理の実践に向けて、指定管理業務関係の各種要領等を、適宜、改訂]

・**指定管理者制度を有効に活用し、公園の特性に沿った維持管理に取り組むと共に、PDCAサイクルによる総合的なマネジメントを実施**。

・長寿命化に資するきめ細かな維持管理を計画的に実施。（例 遊具の消耗部材の定期交換、建築物や橋梁の排水機能の維持）

・**利用者目線による維持管理を重視し、定期的に利用者満足度調査（年１回）を実施し、その結果を維持管理に反映**。

**◇維持管理を見通した新設工事上の工夫**

　・施設の更新の際には、耐久性のある材質や使用見込期間の長い部材・部品や製品の導入を検討。また、一定年数を経過した大型遊具などは、

劣化等の状態を見極めて、既存躯体を活かしてLCC縮減や魅力向上に資する改修などを検討。

**◇新たな技術、材料、工法の活用と促進策**

　・効率的・効果的な管理運営の実践の為、公園情報（例 利用傾向、不具合等発生状況）を蓄積・分析する汎用性のある管理運営システムの導入を検討。

**◇公園機能や公園施設に関する再整備の視点**

　・**社会情勢等に応じて公園に求められる役割は変化・付加されることから、今後、施設の機能転換や機能廃止などの再整備を検討。（検討結果は、**

**長寿命化計画に反映**）

**◇公園**

・府営公園は、府民の憩いや癒し、スポーツ・レクリエーション等の場として、美観や安全・快適な利用が求められるほか、災害発生時には避難地等に活用されるなど、年間約2,000万人が利用する重要な都市基盤施設。

・開設後３０年以上経過した府営公園が約６割（全国の都市公園では約３割）。

・５年後には、遊具の約８割が耐用年数を超過することから、このまま老朽化が進行すれば、破損等による利用停止など、重大事態を招く恐れがある。



建築物の劣化（剥離等）

電気設備の腐食

遊具の劣化・損傷

**≪維持管理の取組み≫**

**◇指定管理者制度による包括的管理の開始（Ｈ18～）**

**◇公園長寿命化計画の策定準備（Ｈ24～）**

**◇施設の長寿命化に資する予防保全対策等を強化（H23～）**

・H22：２億円 → H25：９億円（4.5倍増）

あら

**新たな課題**

**≪課題：効率的・効果的な維持管理手法の推進≫**

**◇安全に対する視点**

・遊具等における目視点検では確認できない不可視部分の不具合への対応

**◇効率的・効果的な維持管理に対する視点**

・公園施設に応じた点検データの蓄積・活用

・公園施設の特性に応じた維持管理手法の整理・設定

・指定管理者との一体的な維持管理

・最適な補修タイミングや更新時期の考え方

・公園施設の維持管理における重点化の考え方

**≪持続可能な維持管理の仕組みづくりのために講ずべき主な施策等≫**

**≪課題：持続可能な維持管理の仕組みづくり≫**

**◇人材の育成と確保、技術力の向上と継承**

・**指定管理業務の履行確認は府職員が実施**し、自ら維持管理の現場を見ることで、**維持管理の技術力向上の機会を確保**。

・**府が直接管理している公園において維持管理の現場研修を行うなど、若手技術者の育成の場を確保**。

**◇将来の担い手不足（技術の継承）**

・公園の維持管理（直営管理）の経験者が少なくなってきている。